

議会だより

11号

力を合わせて
稲刈りをしたよ!



美浜町内の小学生を対象とした
農業体験イベント「みはま YumYumPROJECT」の稲刈りの様子です。

● 9月定例会	2	● 議会の動き	12
● 常任委員会の動き	4	● レガッタ報告 つばた・豊岡	12
● 一般質問	6	● 滋賀県犬上郡視察	12
● 各種委員会報告	9	● 編集後記	12

会計別決算状況

(単位：万円)

会計名	最終予算額	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一般会計	961,479	890,474	854,757	35,717
特別会計				
診療所事業特別会計	18,454	17,773	17,761	12
国民健康保険事業特別会計	145,898	135,509	129,399	6,110
後期高齢者医療事業特別会計	11,172	11,032	11,030	2
介護保険事業特別会計(介護保険事業勘定)	102,054	102,245	98,675	3,570
介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)	1,232	1,122	1,122	0
簡易水道事業特別会計	10,095	10,170	9,509	661
集落排水処理事業特別会計	17,521	16,436	16,416	20
公共下水道事業特別会計	51,241	50,148	50,136	12
小計	357,667	344,435	334,048	10,387
合計	1,319,146	1,234,909	1,188,805	46,104

平成24年度 一般会計9月補正予算概要

予算規模	補正予算額	665,739千円	補正後予算総額	7,563,368千円
------	-------	-----------	---------	-------------

◎歳出予算の内訳(主要事項) (単位：万円)

款	主要事項	金額	参考
総務費	地域主導型再生可能エネルギー等事業 活性化促進事業	50	・再生可能エネルギー協議会補助
衛生費	感染予防事業	260	・定期ポリオ予防接種(不活化ポリオワクチン切替え)に要する委託料
農林水産業費	有害鳥獣対策事業	25,380	・有害獣侵入防止柵設置工事費ほか
	競争力のある福井米づくり事業	9,155	・JA敦賀美方が行うカンントリーエレベーター整備に係る経費を補助する。
	県営事業負担金	12,725	・農村災害対策整備事業 ・かんがい排水事業 ほか
商工費	元気な美浜の地域振興支援事業	238	・プレミアム商品券発行事業補助
土木費	住宅改修費助成事業	460	・耐震改修のほか住宅の修繕、改修等に要する費用の一部を補助する。
	道路維持事業	2,500	・町道維持補修工事費
	除雪対策事業	4,793	・除雪作業委託料 除雪機等修繕料 ほか
教育費	生涯学習センター管理費	1,061	・施設管理運営業務委託 光熱水費 ほか
	なびあす文化事業	955	・イベント出演料 旅費 ほか

●一般会計(総務費)

再生可能エネルギーの推進
小水力発電等の事業化について調査検討するものです。県から50万円、町から50万円小水力発電推進協議会に助成するものです。
有害獣侵入防止柵設置
約20kmの防止柵の設置をするものです。(菅浜、丹生、佐田地区)(商工費)
プレミアム商品券発行
元気な美浜の地域復興支援事業です。
「なびあす」まもなく完成
なびあす文化事業955万円

●平成24年度特別会計補正予算関係

平成24年度各特別会計補正予算についてを審議し原案どおり可決しました。
●美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
地域支援事業費、諸支出金1579万円追加するものです。
●美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
実施設計業務委託料として、1901万円を追加するものです。
●美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
農業集落排水処理施設建設費249万円を追加するものです。

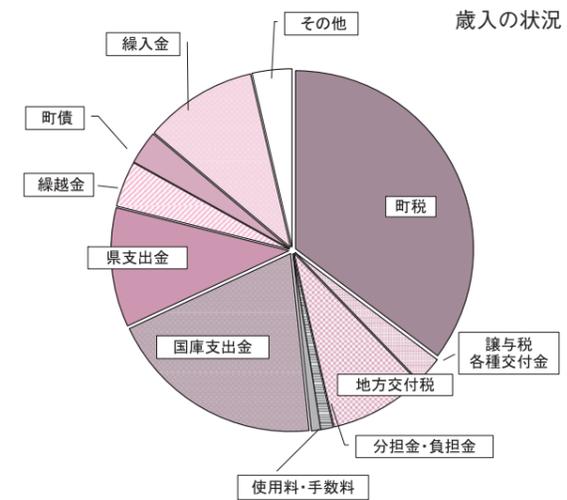
●条例関係

●美浜町災害対策本部条例の改正
美浜町防災会議条例の一部を改正し、防災会議と災害対策本部の役割分担を明確化するため改正するものです。
●美浜町立図書館運営基金条例を廃止
美浜町立図書館運営基金の処分に伴い廃止するものです。
●美浜町生涯学習センターなびあすの設置及び管理に関する条例の制定
生涯学習センターなびあすを設置し、管理に関する規定を制定するものです。

9月定例会(9月5日~21日)

9月定例会は、9月5日より21日まで17日間の会期で開かれました。平成23年度決算関係9議案と平成24年度一般会計補正予算など8議案で、予算関係は予算決算常任委員会、条例その他議案については総務文教常任委員会及び産業厚生常任委員会で審議のうえ、23年度決算を認定し、条例その他議案についても原案どおり可決し、「2030年代原発稼働ゼロを目指すとする革新的エネルギー・環境戦略の撤回を求める意見書」など意見書3件の提出を採択し、教育委員会の委員に杉本繁行氏と加茂正和氏の選任に同意しました。各議案ごとに熱心に議論が行われ、主なものを掲載しました。

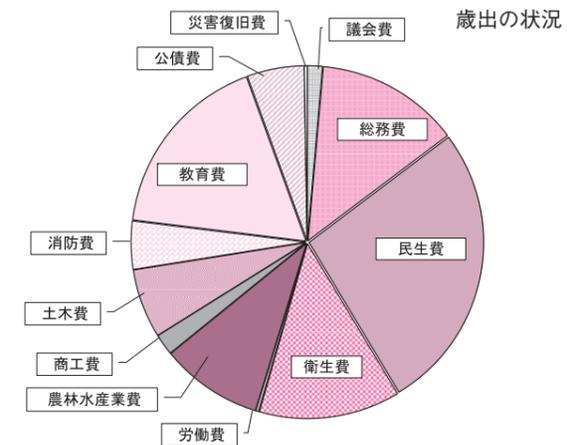
◎平成23年度一般会計の決算状況 決算規模は縮小



◎歳入の状況 (単位：万円、%)

款	平成23年度	構成比
1 町税	315,356	35.4
2 地方譲与税	6,335	0.7
3 利子割交付金	582	0.1
4 配当割交付金	254	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	63	0.0
6 地方消費税交付金	10,572	1.2
7 自動車取得税交付金	1,505	0.2
8 地方特例交付金	2,239	0.3
9 地方交付税	75,340	8.5
10 交通安全対策交付金	139	0.0
11 分担金及び負担金	11,652	1.3
12 使用料及び手数料	7,478	0.8
13 国庫支出金	175,619	19.7
14 県支出金	94,880	10.7
15 財産収入	1,301	0.1
16 寄附金	633	0.1
17 繰越金	36,955	4.2
18 諸収入	29,574	3.3
19 町債	28,330	3.2
20 繰入金	91,668	10.3
歳入合計	890,475	100.0

◎歳出の状況



◎歳出の状況 (単位：万円、%)

款	平成23年度	構成比
1 議会費	12,391	1.4
2 総務費	114,110	13.4
3 民生費	226,786	26.5
4 衛生費	110,896	13.0
5 労働費	3,460	0.4
6 農林水産業費	80,994	9.5
7 農工費	17,002	2.0
8 土木費	54,166	6.3
9 消防費	37,018	4.3
10 教育費	149,598	17.5
11 公債費	46,729	5.5
12 災害復旧費	1,606	0.2
歳出合計	854,756	100

平成23年度の決算を認定

歳入
平成23年度の歳入決算額は89億474万円で、前年度の95億5338万8千円に比べ6億4864万円の減となりました。その要因は、町税が1億6800万円の増収となったものの、地方交付税が3億2042万円の減収となったほか、国の各種臨時交付金等がなくなったことにより国庫支出金で2億294万円が減収、また県支出金においても臨時的な補助金や交付金がなくなったことにより11億5056万円が減収となりました。自主財源は55.5%、依存財源が44.5%となっています。

歳出 民生費と農林水産業費が増額
平成23年度の歳出決算額は85億4757万円で、前年度の91億8383万3千円に比べ6億3627万円の減となりました。総務費、民生費、衛生費、教育費の4区分では10億円を超える決算額となり、全体の70.4%を占めています。総務費は財政調整基金やエネルギー環境教育施設整備事業に係る基金積立を行ったものです。民生費は地域密着型サービス拠点整備事業、せせらぎ保育園整備事業、みずうみ保育園の整備に向けた基金積立、農林水産業費は有害鳥獣対策事業の拡充、土木費は若者定住化対策事業に係る基金積立などによりそれぞれ増額となりました。

常任委員会の動き

各常任委員会に付託された案件と、おもな審議内容をお知らせいたします。

予算決算 常任委員会 付託案件13件

◎平成23年度美浜町一般会計
歳入歳出決算の認定について
(歳入歳入)

エネルギー環境教育体験施設は 基本計画作成中

エネルギー環境教育体験施設整備事業の進捗状況は

問 平成22年度基本調査、23年度検討委員会立ち上げ、24年度基本構想、基本計画、25年度基本設計の手順で進んでいる。

問 税の不能欠損額について、どの様な対応をしてきたのか

答 平成16年の条例以降、長期滞納者の氏名の公表は可能となっているが、督促状、職員の訪問で収納率の向上を計ってきた。

問 コミュニティバスの利用状況は

答 利用者は減少している。今後はデマンドタクシーの導入も検討している。

問 嶺南地域鉄道整備促進基金の状況と今後の計画に期限設定も必要である

答 小浜線の電化と直流化は完了した。今津と上中を結ぶ新線の基金を積み立て中である。

総務文教 常任委員会 付託案件4件 意見書1件

(1)美浜町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

Jアラート(全国瞬時警報システム) 信頼度確立を

問 条例の整備と共に、緊急時の対応を見直す必要がある。

答 Jアラートのトラブルについても原因を究明し、再発防止に努める。



Jアラート(全国瞬時警報システム)

(2)美浜町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

質疑は有りませんでした。

(3)美浜町立図書館運営基金条例を廃止する条例の制定について

美浜町立図書館運営基金を処分

問 生涯学習センター建設事業費に占める図書館分の配分はいくらか

答 共通部分が多く、確定できない。

問 小浜線の利用促進の状況はどの様に実行してきたのか

答 回数券、団体旅行、親子旅行等に助成をしてきた。結果として美浜駅では僅かに増加した。

〈衛生費〉

予防検診事業を推進

問 保健事業の検診、予防対策があるが、加入の保険内容で受診が出来る、出来ないがあるのか

答 40歳以上の特定健診は国保加入者に限られているが、それ以外は誰でもできる。

〈農林水産費〉

問 美浜三方環境衛生組合で実施している堆肥化設備の原料調達はどうであったのか

答 23年度は心配なく、24年度までは現状で可能である。

〈土木費〉

問 住宅改修費助成事業は好評であった。23年度希望者の積み残しはなかったのか

答 45件の希望をすべて達成した。

問 嶺南圏域総流防事業の対象はどこを実施したのか

答 23年度は日向地区を実施した。今後もレッドゾーン優先で進める。

問 基金の積み立てはどれだけあったのか

答 平成22年度末、国からの「地域活性化住民生活に光をそそぐ交付金」の1千38万円である。

(4)美浜町生涯学習センター「なびあす」の設置及び管理に関する条例の制定について

問 使用料を条例と規則で規定・分かり易い料金表の制定を

問 条例の原案は了承できる。使用料について「施設使用料適正化検討委員会」で検討したと考えるが、他の施設と関連は

答 基本的に町民の負担の公平性という観点から決めている。その上で、公益性(活動の効果が他の人におよぶ)、負担能力(支援を必要とする子どもや障がい者等)も考慮して検討した。

問 社会教育団体にに対する減免規定(減額又は免除)についての考えは

答 社会教育全体で考えると、個人の趣味を活かすもの、社会に貢献するもの等多彩である。各団体の意見も聞きながら公益性と言う観点から慎重に決めていきたい。また使用回数に対するポイントカード割引等も検討している。

意見 供用開始までに、使用料金表を含む最終の条例、教育委員会規則を議会の審議に掛けていただきたい。

意見書 地方財政の充実・強化を求める

については、国の責任で地方の財政を圧迫する事のないように全員賛成で採択した。

〈教育費〉

国吉城ガイダンス施設 運営事業利用者微増

問 国吉城ガイダンス施設運営事業の状況は

答 利用者は22年度3千3百18人、23年度3千3百91人とわずかに増加した。

〈歳入全般〉

原子力関連交付金の決定分で 事業整備

問 原子力立地促進対策交付金及び立地地域共生交付金の受け入れは停滞していないのか又、使用状況は

答 決定されている分は受け入れ、事業としては生涯学習センター、丹生・竹波簡易水道整備、更に南小学校体育館、みずうみ保育園整備調査等に使用している。

○平成23年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成23年度美浜町上下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 下水道使用料金は3ヶ月滞納で停止空き家は使った月の基本料で対応、連絡を

：その他の特別会計決算について審議詳細は省略しています。必要な方は議事録

産業厚生
常任委員会
意見書1件

(意見書)地球温暖化に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

賛成意見 現在国が進めている地球温暖化防止のための税はCO2排出源対策に限られており、今回の森林の保護再生はCO2を吸収する対策のための税の拡充である。

森林の整備や保全は必要であり、森林保護のための税を地方に還元する、譲与することは賛成である。

慎重意見 「全国森林環境税の創設」と今回の要請との整合性がわからない。今後の動向を見極める必要がある。との議論がなされた結果、全員賛成で意見書提出を採択した。

産業厚生
常任委員会
〈視察研修〉

先進地に学ぶこれからの 新交通システムと活性化

産業厚生常任委員会の24年度視察研修は7月12、13日実施され、岡山県総社市、倉敷市を訪れ研修した。

テーマ1 デマンド乗合方式「雪舟くん」の導入について(総社市)

導入の動機…①公共交通空白地帯の解消

②高齢者の移動手段の確保

③費用効果の見直し

内容…運営主体は総社市、運行主体は民間のバス・タクシー業者7社と契約し実行している。運行は平日、ドアツードアで要望



デマンドバス「雪舟くん」(岡山県総社市)

に応じている。

テーマ2 食の地産地消の取り組み(倉敷市)

総社市では農業を元気にする、一人でも農業従事者を増やす事を目的に「総社市地産地消推進条例」を施行、①農業者の所得向上、生産意欲向上②新鮮な地元野菜の流通拡大③遊休、耕作放棄農地の解消④地域コミュニティの拡大に取り組んでいる。

テーマ3 美観地区の取り組み(倉敷市)

江戸時代、天領として栄えた商人の町倉敷は、江戸情緒を今も色濃く残し、白壁の屋敷、川沿いの柳並木等、風情ある美観を保っている。

所感…各テーマは美浜町についても同様の課題があり、参考としていきたい。(宮下記)

閲覧ができます…

○平成24年度美浜町一般会計補正予算(第3号)

生涯学習センター「なびあす」文化事業(11月～3月)に予算計上

：その他の補正予算について審議詳細は省略しています。必要な方は議事録閲覧ができます…



若狭国吉城歴史資料館

一 般 質 問

美浜町の全ての防犯 灯・街路灯をLED 照明にしてはどうか

条件を整え進めたい

問 原協関係で29市町村、ポートの町との23市町村で締結している。多くの町と結ぶのが安心感にはつながるが、実効性については疑問が残る。全国で美浜というのが4町(和歌山県、三重県、愛知県)あり、それらの町で友好協力関係を構築している。今後、この町も防災協定の締結を視野に入れ検討している。

答 町外へ勤務している町民にも、元の災害情報をタイムリーに知らせる為に、敦賀市が運用し、災害情報を一斉にメール配信する、トンポメールのようなシステムを導入してはどうか。

総務課長 敦賀市のトンポメールについては、Jアラートと連動して、気象関係は敦賀市で、救急火災等については敦賀美方消防組合の方で情報提供をしている。これは美浜町の防災安全室でも、全ての職員が活用をさせていただいている。これらの運用、導入については、人材と予算など多角的に検討をさせていただいて、できるだけタイムリーな情報を町民に提供できるように検討をする。

問 ピロリ菌の保菌者は日本で人口の半数に当たる6,000万人ほどいる。特に高齢者ほど感染率が高い。胃がん患者減少に向けピロリ菌の除菌を考えるとどう思うか。

胃がん対策に、ピロリ菌の 撲滅に取り組んではどうか。

専門家と相談、町に合った
対策を検討する

問 省エネや維持管理費低減の観点から、美浜町内の全ての防犯灯(街灯)をLED照明に取替えてはどうか。また、各区の維持管理費の補助を検討していただきたい。

答 現在、町内で防犯灯は2,632基ある。老朽化による交換はできるだけLED照明灯に変更するよう進めている。

一斉取替は、多額な経費がかかる。限られた町の財源であることから、補助事業等調整して、また地元負担等も今後考慮させていただきながら、必要な条件を整えれば検討していきたい。

屋内ゲートボール施設の計画は

優先的に考えている、
財源確保が課題



浜野 健治 議員

健康づくり課長 本町において肺がんとともに死亡者の多いのが胃がんである。早期発見、早期治療には積極的に取り組まなければならないと考えている。

胃がんの発生要因は、喫煙、塩分の取り過ぎや、過度の飲酒等、生活習慣病の予防対策も重要と考えられる。今回提案のピロリ菌の検査等を今後、町の医師会や、専門の先生方と相談し、先進地の取り組みも検討しながら、考えていきたい。

生涯学習課長 今年度は大会を2日間とし、ポーターのエンタリーと聞いているが、運営は今年度は大会を2日間とし、ポーターを通して地域活性化につなげる。同時に宿泊案内や、物産ブース設置で観光増進につなげる。

町民レガッタで町の活性度アップを

大会を2日間にして、宿泊や
物産ブースで交流拡大

問 諸団体から要望の出ている屋内ゲートボール施設の素案が出てから久しい。

答 保育園改築、小学校耐震化、生涯学習センター等大型案件の完成が見えた現在、進捗状況は。

町長 24年度設計も考えていたがここへ来て財源の確保が不透明になっている。計画は降りていないし優先度も高い。財源が明確になってから進めたい。

町長 どの様な対策を立て取組は。町の予算で、間伐・枝打ち・刈り・松枯れを防ぐ為空中散布などを行っている。

耳川の現状は十数年前と様変わりしているが、 どう捉えておられるか。

仰せの通りである。原因は山にあり、
治山が出来ていないからと考えている。



兵庫 賢一 議員

問 防火の為に貯水槽の整備の状況は。パイプラインの農閑期の消火活動への利用は出来ないのか。

町長 パイプラインの利用は、融雪などにも活用したいが国の規制が有り明確な回答が出ていない。

総務課長 防火水槽は、私設も含めて95箇所設置済み。興道寺で改修中、郷市で新設計画がある。

問 長い目で見た行政や町民が一体となった植林などの山を蘇らす取組は。

町長 山の対策は絶対必要。全国の町村会で国に呼び掛けており、森林環境税などを提案、政府も森林・林業基本計画を立てた。長期展望にたつてお願いし山に目を向けた政策を取って行きたい。

問 耳川上流に小水力発電が計画されているが。

町長 協議会を設置し検討を始めたばかりで、全てはこれからである。

町長 防災対策がこの一年で何処まで充実したか。

総務課長 総務課に防災機能を持つていき、副町長を頂上に即応体制を取れる様組織を整えた。

総務課長 防災行政無線・Jアラートの整備を行ってきた。学校等の耐震補強を進めてきた。誘導看板を343箇所設置。備蓄物資を各地区の避難施設にも分配。10地区で自主防災組織が立ち上がった。災害時の救援協定を全国の自治体と締結した。

問 津波に対する避難対策に、周辺の山を含み整備する様な計画が必要か。

総務課長 まだ検討に入っていない。ケースバイケースで避難方法・場所を周知徹底する。

問 美浜中グラウンドへの車での直接避難は可能か。

総務課長 可能で連絡体制・鍵とか対応等も含め機能的なことはやっている。

問 避難対策の為に美浜中周辺の道路・土地の整備が必要では。

総務課長 周辺の農道を含め充分かと、駐車場等のスペースは考えていない。

ハザードマップ等の取組の状況は。

地域防災計画の見直しの中で
実施を進めたい。

問 美浜町の地域防災計画は平成18年以降修正、改定が見られないが、その必要性はないのか。

町長 定期的に改善、修正の必要性はあると考えている。防災は重要であり昨年総務課内に防災安全室を設置した。また今年、地域防災計画を見直す予定となっているので、御指摘のことは、逐次災害に対応した取り扱いを行うべきと思っている。

問 県外の市町村との原子力災害を含む災害時相互応援協定を結ぶことが必要と考えるか。

町長 災害時の支援協定締結は非常に重要であると思っている。今、災害協定を結んでいるのは、原子力のある全

美浜町の防災対策は 大丈夫か？

実行性のある体制に
作りなおしていく



竹中 良廣 議員

9月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いいただきました。質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

一般質問

問 平成30年計画されている福井国体に向けた県営久々子湖ポートコースの整備は



県立久々子湖ポートコース

町長 県立ポートコースなので県の補助で進める。いろんな規制があるが、将来を見据えた整備をしていきたい。

有害鳥獣対策の進捗と効果は

恒久柵により、鹿、猪の被害は減少、継続して整備

問 有害鳥獣対策特別委員会の設置を機会に対策を進めてきた件について、中間の状況を聞かせて頂きたい。



松坂 隆司 議員

町長 有害鳥獣対策は確実に減少している。計画を順次進めていきたい。〈意見〉恒久柵を敷設しても有害鳥獣対策は終わりでない。今まで荒らされた田畑や、山林の防災対策等実施する必要があり、継続して進めてもらいたい。

自治体経営を着実性と戦略性という観点から将来の美浜町を問う

将来を見きわめながら対応していきたい

問 成果主義と評価に基づく適正な自治体経営についてどのように考えているか。

町長 役場の中では縦割りにとらわれずに広く横断的な合意形成が重要であると思っている。また、行財政改革として本年度から行政経営室を設け、様々な取り組みを行っている。美浜町の特性を踏まえた自主性の高い自治体政策をどのように考えているのか。

町長 ここ一、二年原子力の見きわめをする必要があると考えている。何十年も基盤に据えてきた中心をどう考えていくのかしつかり捉えられないと、今後のまちづくりを見据えられないと考えている。ただ、今日までやってきた様々な他産業の誘致、あるいは観光の振興も今まで以上に力を入れていく必要があると考えている。

問 自治体経営という観点から、町民と行政の協働型社会をどう進めていくか、現状としてどう考えているか。

町長 推進基本方針に基づいて、町職員にも協働の意識を浸透させることにより、政策実現の手段として、協働を積極的に取り入れられるように協働のまちづくりを推進している。生涯学習や健康づくり、福祉や防災、環境など、多方面に協働が必要だと思っている。一朝一夕にはいかないが今後も町民に呼びかけ、共に共生していくために定着をさせていく必要があると考えている。

自治体経営として次の総合振興計画をどう考えているか

協働のまちづくりの推進が必要

問 着実性と戦略性を二つの観点含んだ上で、自治体経営に対してこれから先どのように進めていくのか。

町長 何をすることも財政がつかまらぬ。その核であるお金をどう使うのか、それをどう確保するかに尽きる。住民の要望をどうつかんでいくか、住民がどういう要望を出してくるのか、そういう状況をいかに理解してくれるのかということにもかかってくと考えている。明確な経営方針というのは、具体的に原子力が非常に困難であり、また大胆に示すということは、今現在、ここ一、二年を見きわめないと、余りにも無責任な示し方になると考えている。しつかりと見きわめていく必要があると考えている。

〈意見〉着実性の部分は副町長の仕事。戦略性の部分は町長の仕事。美浜町がこの先も「変わらないために変わる」必要がある。

各種委員会報告

【議会活性化特別委員会】

議会活性化特別委員会は月に1回のペースで議員全員が出席し、今後の「議会改革」について議論している。春の議会広報に添付していたアンケートの集約を元に今後の「議会報告会（議会と語ろう会）」にむけて作業部会を立ち上げ、今後の進むべき方向性について協議している。他にも議会運営に係る議会内での活性化について、様々な意見を出していきながら町民側の視点に立ち活動していきたい。同じく議論している議員の定数についても、他の情勢に流されず美浜町として「ベスト」の選択をし、「本当の意味での議会改革」を進められる美浜町議会の体制を構築していきたい。（松坂記）

【原子力発電所特別委員会】

1. 「安全で安心な原子力の利用」を政府及び民主党・自由民主党へ要請

去る7月11日、12日の両日、原子力についての要請活動を、内閣府、経済産業省、民主党、自由民主党、県選出他衆参

議院議員、資源エネルギー庁、原子力安全保安院におこないました。

美浜町は、これまで半世紀にも亘って、国のエネルギー政策に協力、貢献し、安全・安心を追求しつつ原子力との共生をして町づくりを進めてきました。

政府は中長期的に原子力発電への依存度を可能な限り減らすとした方向でのエネルギー政策議論がなされ、9月に革新的エネルギー・環境戦略を決定するとされています。

また、6月20日にはようやく原子力規制委員会設置法が成立、27日には公布されましたが、国の事故後の対応や規制と推進が同居する体制から生じた原子力そのものや国、電力事業者に対する不信任感が根強く残っています。

新たな規制組織ができるだけ早く設置されるとともに、安全基準の見直しによる信頼回復と、安全で安心な原子力利用が今後も着実に進められるよう、以下6項目にわたり要請をおこないました。

- (1) 国益に適うエネルギー政策の選択肢について
- (2) 安全が確認された原子力発電所の早期再稼働について
- (3) 長期停止に伴う立地地域への支援について



要望活動の様子

- (4) 40年運転制限の慎重な運用について
- (5) 電源三法交付金の維持など立地自治体への支援の継続について
- (6) 企業（産業）誘致等に向けた支援制度の充実について

議会からは、議長、副議長、原子力発電所特別委員長、副委員長が、町からは町長、企画政策課長、原子力対策室長が共同して要請をおこないました。

（松田記）

【有害鳥獣対策特別委員会】

有害鳥獣侵入防止柵、今年度計画は約20km

8月29日有害鳥獣対策特別委員会を開催し、今年度の有害鳥獣侵入防止柵の計画と、嶺南地域有害鳥獣処理施設の利用状況並びに24年度有害鳥獣の捕獲状況について、担当者の説明を受け、委員で協議を実施した。今年度の侵入防止柵の当初予算は補助単価が下がったため実施距離の短縮が懸念されたが農水課担当者の努力で復活折衝し従来単価で決定した。実施集落は半島の丹生、菅浜、佐田の約20kmの実施を計画している。財源は国庫55%、町30%、地元負担15%。今年度で町内計画の約50%が実施される。（浜野記）



有害鳥獣侵入防止柵（新庄）

その他 活動報告

【町議会議員視察研修】

復興に奮闘する 女川町を視察

9月24日～26日の3日間、町議会原子力関連施設等調査研修に議員10名と副町長・事務局で宮城県女川町役場と東北電力(株)女川原子力発電所へ行ってきました。目的・内容として、女川町の災害への対応と復興に至る取り組みについての意見交換及び東北電力(株)女川原子力発電所にて地



倒れたビルの様子(宮城県女川町)



議会議員視察研修(宮城県女川町)

震・津波による被害を踏まえたその後の安全対策についての調査を行いました。

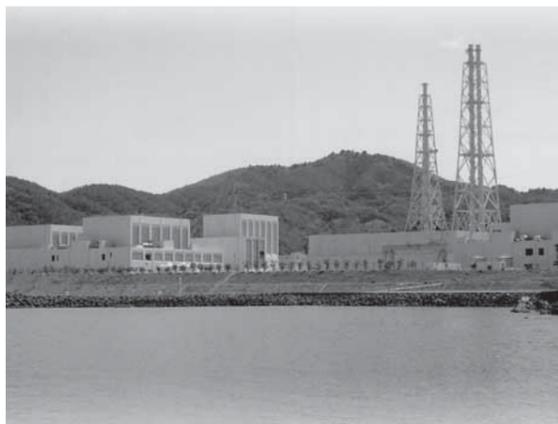
津波の爪痕が今もなお強く残る女川町では、町役場が流され仮庁舎での女川町役場にて女川町議会、木村議長をはじめとして、酒井副議長、佐藤原発対策特別委員会委員長、木村震災復興対策特別委員会委員長の4名の代表者を交え意見交換を行いました。一説によると今回の津波で一番倒壊したのは女川町と言われており、海拔16Mの高台に建っている町立病院でさえ1階が水に浸かってしまう状況で、家屋等の被害は全壊から一部半壊まで含めると9割にも及ぶ。他にもライフラインの被害や、最大で人口1万人の町で6000人近くが避難所に避難した状況、その後の仮設住宅の問題、情報インフラ他様々な問題が次々に振りかかる中で、**女川町が**

震災前の姿をとりもどすまでの復興計画

- ① 安全・安心な港町づくり(防災)
- ② 港町産業の再生と発展(産業)
- ③ 住みよい港町づくり(住環境)
- ④ 心身ともに健康なまちづくり

(保健・医療・福祉)

⑤ 心豊かなひとづくり(人材育成)
として復興の目標期間を定め、平成30年度に女川に新たな街並みが誕生するため取り組みなど、女川町の力強い復興計画を直接聞くことが出来た。復興計画の基本目標である「**とりもどそう笑顔あふれる女川町**」の実現に向け、現状復旧にとどまらない新しい「みなとまち女川」の再生は、基幹産業でもある水産業をいち早く活性化させ、「職と住」をしつかり確立させるという強い意気込みを感じる事が



女川原子力発電所

出来た。
東北電力(株)女川原子力発電所では、地震の発生から津波の襲来までに至る状況の中で、1号機から3号機までのプラントが冷温停止にまで至る過程と、その後の発電所に関する様々な緊急安全対策・シビアアクシデント対策・今後の津波に対する防波堤他の対策・免震構造の事務棟を含めた更なる安全性向上に向けた取り組みを、東北電力(株)女川原子力発電所所長以下担当者から意見交換を含め聞くことができた。
美浜町としても同じように原子力発電所を抱える自治体として、今回の女川町での肌感覚で得たことを活かしていきたい。(松坂記)

【公立小浜病院組合議会】

医師、看護師の確保が課題

去る8月24日、平成24年第2回公立小浜病院組合議会が招集されました。《付議案件》
(1) 常任委員の選任について
(2) 会期の決定について
(3) 平成23年度公立小浜病院組合病院事業会計決算認定について
(4) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について

て

- (5) 杉田玄白記念公立小浜病院およびレイクヒルズ美方病院の使用料および手数料徴収条例の一部改正について
 - (6) 公立小浜病院組合修学資金貸与条例の一部改正について
- 常任委員には松坂隆司議員が選任されました。

会期は8月24日から10月3日までの34日間に決定
(2)(4)(5)の3議案は常任委員会に付託され9月10日に審査されました。
10月3日に本会議が再開され3議案とも可決されました。

当病院組合において健全な経営を阻害する大きな要因は、医師、看護師の不足という事で、医師、看護師確保を最優先課題として取り組まれるとの事です。
(倉田記)

【美浜・三方環境衛生組合】

設備は順調に稼働中

〈ガス化溶融施設〉
稼働2百80日、定期点検30日～60日の計画で、現在順調に稼働中。
〈美方し尿処理施設〉
受け入れ量は低位で推移しているが、設備の効率的運転の為、間歇運転で処理を継続中。



更新予定の消防車

〈堆肥化施設〉

23年度、需要量に対する供給量はまかなえる。乳牛牛糞は管内で調達。
(浜野記)

【敦賀美方消防組合 議会関係のご報告】

興道寺・耐震性貯水槽整備 大藪・消防ポンプ自動車更新

7月3日第2回臨時議会で8千6百5万2千円を追加し15億4千7百57万2千円とする補正予算と火災予防条例の一部改正を可決しました。耐震性貯水槽整備

(興道寺)・消防ポンプ自動車2台購入の費用に充てられます。
8月3日第3回臨時議会で災害対応特殊化学消防ポンプ車(敦賀気比分署)4千8百万円・消防ポンプ自動車(美浜町大藪)1千5百万円の入札結果を承認し配備が決定しました。
(兵庫記)

【消防組合議会視察 (8/23・24)】

大阪市 高潮ステーションを見学

組合議会では、消防行政の充実・向上を目的に、例年この時期先進地域・施設・被災地等を視察研修しております。今回は大阪市の津波・高潮ステーションと水上消防署を視察させて頂きました。特に同市は海拔0mの土地が多く水没する可能性の有る地域が広範囲になる為、防潮堤の状況・システムや避難の対応などを勉強、消防署では水中に沈んでいる水難者を潜水用具を身につけた隊員たちが捜索し、救出する一連の訓練状況や消防艇による消火活動等を視察させて頂きました。
(兵庫記)

【美浜地区自衛消防隊 操法大会へ参加】

地域防災の力を実感

8月26日敦賀美方消防組合議員4名は同大会に参加し、地域・職域の選手の皆さん達と共に、消火の技術・スピードを競いました。参加者皆様の迅速かつ正確な動作に心強く感じました。地域の部では、郷市チームがアベック優勝されました。今後参加チームが増えることを期待しております。
(兵庫記)



第18回美浜地区自衛消防操法大会

議会の動き

7月3日	敦賀美方消防組合議会
4日	24年度町議会議員研修会
12日	産業厚生常任委員会視察研修(12・13日)
20日	議会活性化特別委員会
26日	第4回美浜町議会臨時会
8月10日	委員長・副委員長研修会(自治会館)
11日	全員協議会
19日	第25回 石川県つばた町民レガッタ
21日	原子力発電所特別委員会
22日	議会活性化特別委員会
26日	美浜地区自衛消防団操法大会
27日	議会運営委員会・全員協議会
29日	有害鳥獣対策特別委員会
31日	公立小浜病院組合議会
9月3日	意見交換会・決算審査にあたっての事前研修会
5日	第5回美浜町議会定例会本会議・全員協議会
6日	本会議(一般質問)
9日	美浜中学校体育大会
10日	予算決算常任委員会
11日	〃
13日	総務文教常任委員会
14日	産業厚生常任委員会
18日	全員協議会・議会活性化特別委員会
21日	第5回美浜町議会定例会本会議・全員協議会・本会議
24日	美浜町議会議員研修(26日 宮城県女川町)
29日	交流レガッタ豊岡大会(30日)

第25回石川県つばた町民レガッタ 美浜町議会チームが2年連続優勝



石川県つばた町民レガッタには、津幡町議会の他近隣の金沢市・小矢部市・かほく市・南砺市議会さらに、美浜町議会を含め9クルーで議会の部が開催された。この大会では、議会議員クルーで昨年初参加初優勝をした。今年も引き続き優勝し、2連覇に輝いた。

大会後の懇親会では、それぞれの議員との情報交換を通じ交流を深めた。(山口記)

第21回全国市町村交流 レガッタ豊岡大会

議会議員の部 準優勝なる

9月29・30日に、兵庫県豊岡市円山川漕艇場にて開催された第21回 全国市町村交流レガッタ豊岡大会で、議会議員Bクルーが昨年より順位を一つ上げて準優勝に輝いた。

さらに、議会議員Aクルーも議会議員シニアの部で、4位入賞を遂げ、今年の大会での美浜町の総合優勝に貢献した。

美浜町議会を視察

犬上郡町村議会議長会行政視察研修のため美浜町来訪



9月27日美浜町役場3階議会会議室において、滋賀県犬上郡(甲良町・豊郷町・多賀町)3町の議会議長会行政視察研修が行われました。美浜町議会の議会改革の取り組みについて3町の議長・副議長、美浜町からは北村議長、議会活性化特別委員会藤本委員長、同松坂副委員長で意見交換を行いました。それぞれの町の議会が抱える問題や取り組み方、今後の対応や方向性など様々な課題に対し、美浜町も含めた4町が活発な意見交換の中で、今後同じ規模の人口を持つ自治体の議会として互いに情報を共有し、議会改革・議会活性化に対して取り組んでいきます。(松坂記)

編集後記

今世の中を騒がしている数々の問題に関しても、報道が情報をいかに正確に伝えるという事が、難しく感じます。私たちも、この町での出来事・問題の対処を正確に伝える事の一端を担って「議会だより」を始めて11号目。

解りやすくする為に、写真を多くし、見やすい様にと、多くの町民に読んで貰いたいと思いで編集をしています。



(山口記)

美浜町議会広報特別委員会

【委員長】山口 和治

【副委員長】浜野 健治

【委員】松坂隆司・藤本 悟・倉田愛子・竹仲良廣